

団体名

せんと自治会

1. 事業名	SNSを活用した安全・安心な地域づくり事業		
2. 事業の目的	自治会の公式LINEや、X（旧Twitter）といったSNSを活用し、地域住民の安全・安心な生活のサポートや地域活性化を図る。併せて、高齢者等にSNS等で生活に必要な情報等を収集・発信する力をつけていただくことで、情報格差の是正を図る。		
3. 事業の内容			
(1) 日時	令和〇年5月1日～令和△年3月31日		
(2) 場所	せんと自治会館等		
(3) 対象者	せんと地域住民（自治会未加入者も含む）		
(4) 内容	自治会公式SNSによる情報発信と情報収集の支援のための講座開催 自治会公式LINEとXの立ち上げと県内の大学、地域の事業者及びNPOと連携して、地域住民の生活に役立つ情報や地域のイベント情報の発信やLINEによる災害時を想定した安否確認訓練を行う。 また、高齢者等向けにSNS等による情報収集等のための講座を県内大学と連携して開催することで、情報格差の是正を目指す。 ○連携団体：県内の大学、地域の事業所、まちづくりNPO、防災系NPO、公民館 ○事業内容： ・地域の防犯・防災情報、高齢者等の健康に役立つ情報、地域のイベント情報、自治会の取組等の公式SNS（LINE、X）での情報発信 ・災害時を想定した、LINEによる安否確認訓練の実施 日時：令和△年1月 ・住民向けスマホ講座 日時：令和〇年11月～12月の間で3回程度 参加者：地域住民、1回当たり10名程度 講師等：携帯電話会社社員、県内大学生（講師補助）		
(5) 連携する団体及び役割分担	連携団体等		新たな連携（該当するものに○をつけ
	1	平城京大学	情報発信について助言、学生の派遣 ○
	2	(株) 遷都福祉事業所	高齢者の健康に役立つ情報等の提供 ○
	3	(特非) 白虎まちづくり	地域のイベントの情報等の提供
	4	(特非) 南都防災ネット	LINEによる安否確認訓練の実施支援 ○
	5	遷都公民館	スマホ講座の参加者募集の支援 ○
	6		
4. 連携によって目指す効果	連携により、自治連合会単独では実現が難しい、SNSでの情報発信や多様な情報の発信により、地域住民に必要な情報を迅速に届けることや地域のイベント情報を多くの世代に発信することが可能となる。		
	過年度の本補助金の選定事業の場合は、最初の申請日以前には連携していなかった団体と連携も、「新たな連携」と取扱います。		
5. 総事業費	交付申請書の(第1号様式)、「4. 事業の着手及び完了の予定		611,200 円
6. 交付申請額			263,120 円
7. 事業期間	令和〇年5月1日～令和△年3月31日		
8. スケジュール	・令和〇年6月 SNSアカウント開設、情報発信についての検討会 ・同7月～令和7年3月 地域住民に周知、地域の団体と連携し情報発信 ・令和〇年9月～11月 住民向けスマホ講座（3回程度） ・令和△年1月 LINEによる安否確認訓練 ・同2月 事業成果検証会議開催		
9. 特記事項 アピールポイント	連携による多様な情報発信に加え、情報の受け手である地域住民の間の情報格差の是正を目指すといった、情報発信から情報の有効活用までを見据えた事業となっている。		

※過年度の本補助金の選定事業で、初めて選定された年度の申請日以前には連携していなかった団体と連携する場合は、「新たな連携」とします。

※適宜、資料を添付してください。（任意）

※連携が実現しなかった場合は、事業が実施されても補助対象とはなりませんのでご注意ください。